

Made in AKITA

メイド イン アキタ

木に生かされ木を活かす
唯一無二の家具職人

HOLTO (ホルト)



店名のHOLTOは、子どもの頃、山遊びの際にいつも雨宿りをしていた木が「ホルトノキ」に似ていたことから。“木にストレスを与えない”ように設計された家具や雑貨は、すべてが一点ものだ。

世界にただ一つの家具づくり

北秋田市鷹巣駅前商店街の一角にあるカフェ&ギャラリー「HOLTO」の工房で、家具職人の布田信哉さんは、無垢の木にこだわり、自然の作り出す姿かたちを大切にしながら作品を生み出している。

宮大工に憧れ、将来は木の仕事で食べていくことを小学生の時には決めていたという布田さんは、別の仕事をしながら独学で家具作りの技術を習得し、2016年に工房を立ち上げた。一般的には敬遠される木材の割れや反りなども個性として活かしながら、木が一番良い状態でいられるように設計を考え、時には必要な道具も作るというその技術と感性への顧客からの信頼は厚い。

「木に生かされて仕事をしているので、木材を取捨選択することはしません。実際に切ってみないとわからないので図面は書かず、模型や写真でお客様とイメージを共有しながら進めます。大まかなイメージを共有し、あとはお任せしますとってくださる方も多く、木と向き合いながら制作するのが楽しいですね」。

釘やビスを使わない伝統的な手法を用いながらも、新しい感覚の作品を生み出す布田さんは、2018年に「レクサス匠プロジェクト」で、家具職人として秋田県代表の次世代の匠に選出されている。

“楽しく”北秋田市を盛り上げる!

創業翌年に工房兼カフェとしてHOLTOを鷹巣駅前に移転オープンした布田さんは、2020年に鷹巣周辺の同世代の経営者仲間と「TANOC」というブランドを立ち上げた。秋にはHOLTOを向かいの空きビルに拡大移転し、元の店舗に地元の写真家を誘い入れメンバーに迎えた。TANOC初のプロダクトは、デザイン、材木、木工、縫製、写真というメンバーの仕事を活かし、企画、制作、プロモーションをすべて自分たちで手掛ける県産クリ材のツールとデスクチェアだ。

「TANOCには「鷹巣のチャレンジ」と「楽しい」という2つの意味が込められています。楽しいことをしていれば誰かがついてくる、という思いから集まり、誰かの発案に共感したら、できる時にできる人が、やると決めたら真剣にやる。農家から写真家まで、それぞれの得意分野を発揮しながら、「ライフスタイル」を提案するブランドに育てていきたいと思っています」。

自分たちが“楽しみ”ながら、自然にその輪が広がってほしい。布田さんたちの取り組みは、緩やかに、しかし着実に地域に新しい風を起こしている。



代表
布田 信哉
Shinya Nunota

HOLTO

〒018-3311
秋田県北秋田市材木町1-17
TANOCビル1F
TEL. 090-6782-5193
<https://holto.jp/>

会社概要

オーダー家具・木製雑貨の製作・販売
cafe兼gallery

